



初代校長／小花冬吉先生

- 6年 ● 4月 **大学院鉱山学研究科博士課程(区分別)設置**
 博士前期課程
 (資源・素材工学専攻, 物質工学専攻, 情報工学専攻, 機械工学専攻, 電気電子工学専攻, 土木環境工学専攻)
 博士後期課程
 (地球工学専攻, 機能物質工学専攻, システム工学専攻)
- 8年 ● 3月 附属資源地学研究施設廃止
 5月 附属素材資源システム研究施設設置(附属資源地学研究施設から)
- 10年 ● 4月 **工学資源学部設置**(鉱山学部の改組)
 (地球資源学科, 環境物質工学科, 材料工学科, 情報工学科, 機械工学科, 電気電子工学科, 土木環境工学科)
- 14年 ● 4月 **大学院工学資源学研究科設置**(鉱山学研究科の改組)
 博士前期課程
 (地球資源学専攻, 環境物質工学専攻, 材料工学専攻, 情報工学専攻, 機械工学専攻, 電気電子工学専攻, 土木環境工学専攻)
 博士後期課程
 (資源学専攻, 機能物質工学専攻, 生産・建設工学専攻, 電気電子情報システム工学専攻)
- 16年 ● 7月 附属ものづくり創造工学センター設置
- 18年 ● 1月 附属地域防災力研究センター設置
 4月 附属環境資源学研究センター設置(附属素材資源システム研究施設の廃止)
- 19年 ● 4月 博士前期課程
 環境物質工学専攻 環境リスクコミュニケーター養成コース設置
 機械工学専攻 テクノマイスター養成コース設置(平成23年度以降募集停止)
 10月 博士後期課程
 英語による特別コース設置
- 20年 ● 4月 環境応用化学学科, 生命化学学科設置(環境物質工学科の改組・再編)
 工学資源学研究科
 MOT(Management of Technology) コース設置
- 21年 ● 4月 リサイクルプロセッシング講座(寄附講座)設置(H21.4.1~H30.3.31)
- 22年 ● 4月 **大学院工学資源学研究科を部局化**
- 23年 ● 10月 創立100周年記念式典挙行
- 24年 ● 4月 博士前期課程
 環境応用化学専攻, 生命科学専攻設置(環境物質工学専攻の改組・再編)
 共同ライフサイクルデザイン工学専攻設置(秋田県立大学との共同大学院)
 10月 百周年記念館完成
 12月 工学資源学研究科
 資源ニューフロンティア特別教育コース設置(H24.4.1~H30.3.31)
- 25年 ● 4月 博士前期課程
 あきたアーバンマイン開発マイスター養成コース設置
- 26年 ● 4月 **理工学部設置**(工学資源学部の改組)
 (生命科学学科, 物質科学学科, 数理・電気電子情報学科, システムデザイン工学科)
 博士後期課程
 生命科学専攻設置
 附属理工学研究センター設置(附属環境資源学研究センターの改称)
 附属鉱業博物館移管(国際資源学部附属施設へ)
- 27年 ● 4月 博士前期課程
 医理工連携コース設置
- 28年 ● 4月 **大学院理工学研究科設置**(工学資源学研究科の改組)
 博士前期課程(生命科学専攻, 物質科学専攻, 数理・電気電子情報学専攻, システムデザイン工学専攻, 共同ライフサイクルデザイン工学専攻)
 博士後期課程(総合理工学専攻)
- 30年 ● 4月 附属革新材料研究センター設置(附属理工学研究センターの改組)
- 31年 ● 4月 附属クロスオーバー教育創成センター設置(附属ものづくり創造工学センターの改組)
- 令和
- 2年 ● 4月 博士前期課程
 航空機システム・エネルギーイノベーションコース設置
 博士前期課程
 あきたサステナビリティスクール設置(あきたアーバンマイン開発マイスター養成コース改編)
- 3年 ● 4月 先進ヘルスケア大学院設置(医学系研究科と共同設置した研究科等連係課程実施基本組織)
- 4年 ● 4月 博士前期課程
 共同サステナブル工学専攻設置(秋田県立大学との共同大学院)



百周年記念館(平成24年当時)